

ひょうご子ども未来プランの進捗状況

1. ひょうご子ども未来プランの目標(5年間(H18~22)で25万人の出生数確保)の達成状況等

出生数

平成17年に大きく減少(増減率 5.3%)したが、プラン目標開始年の18年に、全国(2.9%)を上回る3.4%増の49,573人となったのち、19年49,289人、20年49,222人と、年間目標の5万人に近い水準で推移している。

平成21年6月までの出生数は24,050人となり、前年同期と比べ1.1%下回っている。

出生数(兵庫県・全国)

単位:人、%

区分	平成17年		子ども未来プラン目標期間							
	出生数	増減率	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
			出生数	増減率	出生数	増減率	出生数	増減率	出生数	増減率(前年同期)
兵庫県	47,951	5.3	49,573	3.4	49,289	0.6	49,222	0.1	(1月~6月) 24,050	1.1
全国	1,090,237	4.2	1,122,278	2.9	1,120,937	0.1	1,123,455	0.2	(1月~5月) 448,138	2.4

合計特殊出生率

平成17年は1.25であったが、18年は0.03ポイント増の1.28、19年は0.02ポイント増の1.30となった。

20年はさらに0.04ポイント増の1.34となり、全国順位も35位に上昇した。

合計特殊出生率(兵庫県・全国)

区分	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
	(国調)	全国順位	出生率	全国順位	出生率	全国順位	出生率	全国順位
兵庫県	1.25	38位	1.28	38位	1.30	36位	1.34	35位
全国	1.26		1.32		1.34		1.37	

保育所待機児童数

平成17年4月1日に1,056人あった待機児童数は、保育所整備に伴う定員の増加により18年度が873人、19年度が675人と減少したが、20年度は770人、21年度は905人となった。

保育所待機児童数(4/1現在)等(兵庫県)

単位:人

区分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
待機児童数 (うち県所管分)	1,056 (226)	873 (191)	675 (125)	770 (117)	905 (168)
保育所定員増 (うち県所管分)	1,072 (446)	1,522 (582)	785 (278)	680 (395)	1,110(予定) (335)(予定)

児童虐待相談件数・一時保護件数(こども家庭センター)

児童虐待相談件数は、平成 17 年度は 958 件であったが、18 年度は 1,369 件と大きく増加し、19 年度は横ばいの 1,351 件、20 年度は 1,557 件と増加となった。

また、一時保護件数は、平成 17 年度は 363 件であったが、18 年度に 475 件と大きく増加し、19 年度は再び減少し 384 件となり、20 年度も 389 件と横ばいであった。

児童虐待相談件数、一時保護件数(兵庫県：こども家庭センター) 単位：件

区分	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
児童虐待相談件数	958	1,369	1,351	1,557
一時保護件数	363	475	384	389

一般事業主行動計画策定届出企業数

平成 17 年度末で 507 社であった届出企業数は、18 年度末では 665 社、19 年度末では 833 社、20 年度末では 1,013 社、21 年 6 月末では 1,055 社と年々増加している。

一般事業主行動計画策定届出企業数(兵庫県)[累計] 単位：社

区分	平成 17 年度末	平成 18 年度末	平成 19 年度末	平成 20 年度末	平成 21 年 6 月末
届出企業数	507	665	833	1,013	1,055
301 人以上	427	439	437	451	462
300 人以下	80	226	396	652	593

3ひろば事業(まちの子育てひろば、子どもの冒険ひろば、若者ゆうゆう広場)

箇所数、参加者数は増加傾向にある。

3ひろば事業の開設状況等

単位：か所、千人

区分	平成 17 年度末		平成 18 年度末		平成 19 年度末		平成 20 年度末		平成 21 年 6 月末	
	か所数	延参加者数	か所数	延参加者数	か所数	延参加者数	か所数	延参加者数	か所数	延参加者数
まちの子育てひろば	1,611	2,350 千人	1,760	2,520 千人	1,828	2,680 千人	1,868	2,760 千人	1,917	690 千人
子どもの冒険ひろば	211	61 千人	295	65 千人	418	88 千人	428	95 千人	428	5,600 人
若者ゆうゆう広場	30	105 千人	40	131 千人	47	156 千人	43	147 千人	41	4,600 人

子どもの冒険ひろば、若者ゆうゆう広場については 21 年は 4 月末時点

子育て支援活動を行う NPO 法人数

平成 17 年度末で子育て支援活動を行っていた NPO 法人数は 393 法人であったが、18 年度末で 444 法人、19 年度末で 471 法人、20 年度末で 516 法人、21 年 7 月 21 日現在 527 法人となり全体の 4 割を占めるなど年々増加している。

子育て支援活動を行う NPO 法人数(兵庫県)[累計]

単位：法人

区分	平成 17 年度末	平成 18 年度末	平成 19 年度末	平成 20 年度末	平成 21 年 7/21 現在
子育て支援活動を行う NPO 法人	393	444	471	516	527
(参考)NPO 法人全体	914	1,099	1,249	1,386	1,416

2. 少子対策本部設置後の主な取り組み

平成17年8月の少子対策本部の設置以降、「ひょうご子ども未来プラン」に基づき、出生数の目標達成や社会全体での子育て支援などに向け、先導的な取り組みを行っている。

(1) 未来の親づくりへの支援

ひょうご出会い支援事業の実施により、男女の出会いの場をつくとともに、全市町での妊婦健康診査の実施や若者しごと倶楽部による若年者の就業支援などを実施している。

ひょうご出会い支援事業による男女の出会い支援

成婚数： 9組 11組、 9組、 27組、²¹(6月末)6組 (~ ²¹6月末 累計42組)
このとり大使数： - -、 407人、 406人、²¹年6月末 405人

妊婦健康診査の実施支援

対象者数： - 29,384人、 40,720人、 47,393人、²¹予定 50,610人
県市町平均公費負担回数： 0.1回 1.2回、 1.6回、 4.4回、²¹14回(全市町)

特定不妊治療費助成事業

助成件数： 925件 1,025件、 1,819件、 1,780件、²¹216件(6月末)
(~ 西宮市対象外(中核市)) (~ ²¹6月末 累計 4,840件)

若者しごと倶楽部による就職支援

就職者数： 886人 939人、 1,110人、 1,247人(~ 累計 3,296人)

(2) 子どもを生み育てることへの支援

認定こども園の整備支援、ひょうご放課後プラン事業、まちの子育てひろば、子育て応援ネットなど、地域ぐるみの子育て支援や、事業所内保育施設設置助成などを実施するとともに、保育所や幼稚園による子育て応援事業、第3子以降の保育料の軽減等に取り組んでいる。

認定こども園の整備支援

認定数(累計)： - -、 14施設、 15施設 ²¹6月末 19施設

ひょうご放課後プラン事業

放課後児童クラブ開設数(累計)： 626か所 649か所、 691か所、 716か所、²¹747か所
放課後こども教室開設数(累計)： - -、 214か所、 281か所、²¹361か所

乳幼児子育て応援事業(保育所)・2歳児子育て応援事業(幼稚園)

実施箇所数(累計)： - -、 -、 民間保育所 58か所、私立幼稚園 99園、
²¹民間保育所 141か所、私立幼稚園 121園(予定含む)

多子世帯保育料軽減事業

実施市町： - -、 -、 41市町 4,220人

事業所内保育施設設置助成

助成件数： - 2施設、 4施設、 17施設、²¹6月末 8施設
(~ ²¹6月末 累計 31施設(予定含む))

まちの子育てひろばの開設・運営支援

開設数(累計)： 1,611か所 1,760か所、 1,828か所、 1,886か所、
²¹6月末 1,917か所
参加者数： 2,350千人 2,520千人、 2,680千人、 2,760千人
(~ 累計 7,960千人)

大学コンソーシアムひょうご神戸との協定に基づく「まちの寺子屋師範塾」の開催
取組内容： 14 大学(16 講座)で団塊世代等を対象とした講座開催
21 18 大学(22 講座) (8 月から開催)

3 . プログラム 2 0 0 9 の取り組み

現プランの最終計画年度として、すべての子育て家庭を対象とした支援、若者の就業や結婚の支援、仕事と生活のバランスの推進、妊娠・出産支援とセーフティ・ネットの充実、いきいきとした子どもの育ちと社会全体の子育て家庭への支援、を重点として取り組みます。

(1) すべての子育て家庭を対象とした支援

「まちの子育てひろば」や保育所・幼稚園による子育て家庭への支援を拡充するとともに、保育所の緊急整備、「認定こども園」の整備・運営の支援や「ひょうご放課後プラン」の拡大などにより、子育て環境の整備を推進する。

(2) 若者の就業や結婚の支援

「緊急雇用就業機会創出基金」及び「ふるさと雇用再生特別交付金」を活用し、福祉を始め様々な分野での雇用機会を創出するとともに、地域団体・NPOや市町との協働により「ひょうご出会い支援事業」による出会いの場づくりを県内各地域で進める。

(3) 仕事と生活のバランスの推進

連合兵庫、県経営者協会と県との協働による「ひょうご仕事と生活センター」事業として、仕事と生活のバランスの実現に向けた企業への相談員派遣、出産・育児等による離職者の再雇用支援、先進企業表彰や普及啓発活動等を行うとともに、事業所内保育施設の整備をさらに推進する。

(4) 妊娠・出産支援とセーフティ・ネットの充実

妊婦の健康管理の充実や経済的負担の軽減を図るため、市町の妊婦健康診査への支援を拡充するとともに、産科医・小児科医の確保や小児救急体制整備を進める。また、児童虐待の予防、早期発見・対応に向け、こども家庭センターの機能強化や、地域、家庭からの相談や親子指導などを行う児童家庭支援センターの増設を行う。

(5) いきいきとした子どもの育ちと社会全体の子育て家庭への支援

地域三世代同居の促進など家庭応援の拡充や、子どもの社会体験の場づくりを推進するとともに、大学と連携した「まちの寺子屋プロジェクト」など高齢者、団塊世代など多世代が子育て支援に参加する取り組みや、企業が参画する「ひょうご子育て応援の店」の拡大などを推進する。

〔参考〕

ひょうご子ども未来プラン主要施策の進捗状況

1 未来の親づくりへの支援

(行動1 未来の親への支援)

ひょうご出会い支援事業(出会いサポート事業、こうのとりの会事業)

少子化の大きな要因となっている未婚化・晩婚化の進行に歯止めをかけるため、企業、市町や地域団体・NPO等と協働して、社会全体で独身男女の出会いの場をつくり、結婚を支援している。

21年度は、こうのとりの会大使(405名)や市町等の協力を得て、各地域でのイベント開催や会員団体等の加入を推進している。

区 分		19年度	20年度	21年4-6月	合 計
交流会 開催数	出会いサポート事業	104	166	51	321
	こうのとりの会	22	11	1	34
	合 計	126	177	52	355
参加者数	出会いサポート事業	4,546	6,234	1,443	12,223
	こうのとりの会	829	398	65	1,292
	合 計	5,375	6,632	1,508	13,515
成婚数	出会いサポート事業	5	12	4	21
	こうのとりの会	4	15	2	21
	合 計	9	27	6	42

注) 事業開始年度 出会いサポート事業：18年度
こうのとりの会事業：11年度

注2) 両事業で連携している交流会・参加者数に関しては、
出会いサポート事業でカウント



東鉢伏高原清掃ボランティア体験

妊婦健康診査に要する費用の助成

市町が実施する妊娠健康診査に助成し、市町の取り組みを支援している。

- ・ 健診助成費： 15,000円(定額)
市町公費負担額(5回超相当分) × 1/2
市町公費負担額(5回超相当分) × 1/2 × 1/3
- ・ 助成市町数：21年度 全市町で実施
- ・ 助成対象者：21年度 50,610人(予定)



母子健康手帳交付時に助成制度を紹介

特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち医療保険が適用されず高額の治療費を要する体外受精、顕微授精(特定不妊治療)を受けた法律上の夫婦の経済的負担を軽減するため、助成を行っている。

- ・ 助成額：15万円上限/治療1回 1年度2回まで(通算5か年度助成)
- ・ 実績： 1,819件、 1,780件

(行動2 若者の自立支援)

若者しごと倶楽部

若年失業者(不安定就労者を含む)等の就職支援を図るため、ひょうご・しごと情報広場(神戸市中央区：神戸クリスタルタワー)内に設置した「若者しごと倶楽部」において、キャリアカウンセリングから職業紹介・就職までをワンストップで行っている。



若者しごと倶楽部

単位：人

区分	19年度	20年度	21年度
新規求職登録数	3,162	3,549	1,183
就職件数 (就職率)	1,110 (35.1%)	1,247 (35.1%)	298 (25.2%)
うち正規	892	1,060	222

21年度は6月末現在

ひょうごニート支援ネットの構築

ニートの自立を総合的に支援するため、若者自立塾（合宿形式により生活訓練、労働体験等を行う）、若者しごと倶楽部等の就職支援機関や行政機関などによる「ひょうごニート支援ネットワーク会議」を通じて各機関と連携し「自立就職支援セミナー」、「オープンファクトリー」、「ボランティア等体験」などを実施している。

年長フリーター等就職支援事業

就職氷河期などにやむを得ず不安定就労を選択した年長フリーター等の安定就労を支援するため、企業説明会を開催している。

- ・開催回数： 5回開催（神戸3回、尼崎1回、姫路1回）
21 4回予定（神戸2回：6/3に第1回開催済、尼崎1回、姫路1回）

人生まなび塾

山の学校のノウハウを活かし、匠の技体験、農場宿泊体験などの若者の自立支援に向けた体験プログラムを実施している。

- ・実施主体：（財）兵庫県青少年本部、県立山の学校
- ・対象者：15～34歳未満の若者
- ・開催状況：年10回（21 第1回目 5月7日、第2回目 5月29日、第3回目 6月26日
第4回目 7月20日 第5・6回目 8月9日
第7回目 9月13日 第8回目 10月2日
第9回目 11月15日 第10回目 12月6日 開催）

高校生就業体験事業 - インターンシップ推進プラン - の実施

生徒一人ひとりの勤労観、職業観や職業人としての基礎的・基本的な資質・能力を育成するため、将来めざしている職業にかかわる職場や地域の企業等におけるインターンシップ（就業体験）に取り組んでいる。

- ・対象者：全県立高等学校の2年生（21 156校）
- ・活動内容：将来の進路等に関連した事業所等における就業体験 等
県庁インターンシップの実施（21 8月24日～8月28日 県立高等学校28校55名が参加予定）
高校生就業体験事業報告会の開催（各高等学校で実施） 等

「ひょうごの匠」ものづくり体験事業の実施

青少年の技能尊重気運を醸成するため、県技能士会連合会と連携し、「ひょうごの匠」が技能伝承の体験事業を行っている。

- ・中学校キャラバン隊派遣（対象：中学生 実績 2,192人、21 予定 2,330人）
- ・小学生ものづくり講座（対象：小学生 実績 117人、21 予定 161人）

2 子どもを生き育てることへの支援

(行動3 家庭の子育て力の再生)

ひょうご家庭応援県民運動の推進支援

家族のきずなを深め、地域で家庭を支えるため、「こころ豊かな美しい兵庫推進会議」及び「家庭応援団」で構成される「ひょうご家庭応援ネットワーク会議」(624団体)が推進している「ひょうご家庭応援県民運動」の取り組みを支援している。

- ・ひょうご家庭応援ネットワーク会議の開催
- ・「家族の日」運動の普及推進
- ・「家族の日」キャンペーンの実施(「家庭応援プラン」の募集(6月末:24件))
- ・「家族の日」写真コンクールの開催
- ・「わが家のルール」づくりの取組支援
- ・「ひょうご家庭応援県民大会」の開催(平成21年11月8日)

(新)「ひょうご親学び応援プロジェクト」の推進

「ひょうご家庭応援県民運動」の一環として、地域全体で多世代が交じり合い、共に支え合う『地域三世同居』の実現をめざした取組や活動を支援している。

- ・「わくわく親ひろば」の開催
- ・「ひょうごおやじネットワーク」等の活動支援

こんにちは赤ちゃん事業

市町が生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育ての悩み相談、子育て支援情報の提供、母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行うとともに、更に支援が必要な家庭に対し適切な子育て支援につなぐための支援を行っている。

- ・実施市町： 28市町、 37市町、 21全市町実施予定
- ・財源：次世代育成支援対策交付金(厚生労働省)

2歳児等子育て応援事業

在宅乳幼児とその親が、民間保育所や私立幼稚園でしつけを学んだり、集団活動を体験できるよう補助を行っている。

乳幼児子育て応援事業

在宅の0~2歳児及びその親を対象に、民間保育所において体験保育、親子教育を実施し、育児不安を抱える保護者を支援

- ・実施か所： 58か所、 21141か所
- ・開催日数： 96日/年：24か所、48日/年：34か所

私立幼稚園2歳児子育て応援事業

地域の在宅2歳児やその親の子育て支援のため、私立幼稚園の人的・物的資源を活用して行う体験幼児教育等を支援

- ・実施園数：121園(予定を含む)
- ・対象回数：96回/年を上限

(行動4 保育サービスの充実)

保育所待機児童対策

待機児童が発生している市町について、保育所の開設・増築により定員増を図るとともに、関係県民局等を加えた「待機児童対策県・市合同プロジェクト」による会議を開催し、年度当初の定員の弾力化の拡大、認可外保育施設の認可化の促進等、待機児童解消に向けて協議を行っている。

区分	17年	18年	19年	20年	21年
待機児童数	1,056人	873人	675人	770人	905人
該当市町数	11市1町	10市	11市	10市	11市
定員増(人)	1,072人	1,522人	785人	710人	1,110人 (計画)
定員減(人)	-人	190人	385人	570人	-
保育所整備か所	15か所	30か所	15か所	9か所	23か所

内訳

区分	19年	20年	21年
県所管	120	108	168
神戸市	489	487	483
姫路市	25	32	26
尼崎市	5	9	5
西宮市	36	134	223
合計	675	770	905

注) 待機児童数は4月1日現在

認定こども園の整備

就学前の教育・保育を一体的に提供する認定こども園の設置を推進するため、経費の一部を助成するとともに「認定こども園アドバイザー」を設置している。

- ・認定施設数：19施設(年度14施設、1施設、214月1日4施設を認定)
内訳 幼保連携型4、幼稚園型11、保育所型3、特定認可外保育施設型1

多子世帯保育料軽減事業

多子世帯の子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、第3子以降が利用する場合の保育料を助成する。

- ・対象児童：保育所、幼稚園、事業所内保育施設、院内保育施設を利用する第3子以降の児童
- ・対象世帯：所得税額40千円未満の世帯
- ・補助額：保護者負担が6,000円/月を超える場合に
0~2歳児 4,500円/月を限度に補助
3~5歳児 3,000円/月を限度に補助
全市町で実施

病児・病後児保育への支援

保育所に通っている子どもが急に病気になった場合などに、安心して親が働けるようにするため、病児・病後児保育を支援している。

保育所や医療機関等の助成に加え、病児保育施設を拠点として、保育所等とネットワークを構築するひょうご病児保育サポート事業をモデル的に実施している。

病児・病後児保育事業

病児等を保育できる体制を確保する保育所、医療機関等に対して助成

- ・対象施設：看護師等を配置する保育所、医療機関等
- ・実施か所数：32か所、2130か所

ひょうご病児保育サポート事業

病気の子どもを保育所等が窓口となって、嘱託医等またはかかりつけ医への付き添い及び病児保育施設等への送りを行う体制をモデル事業として整備

- ・21実施か所数：3市(朝来市、丹波市、西脇市(調整中))

緊急サポートネットワーク事業(カンガルーネット)

県看護協会が主体となり、登録会員に対し看護や保育の専門家等による病児・病後児の預かりを実施

- ・21実施か所数：4か所(尼崎市、姫路市、西宮市、伊丹市)



カンガルーネット イメージ図

商店街と連携した子育て支援

商店街・小売市場の活性化を図るため、買い物客の子どもの一時的預かりや店舗等従業員の子どもの保育などを支援している。

(支援事例)

- ・三宮センター街(神戸市中央区) H18～H20年
- ・ヨックンクセンターゆめタウン(丹波市) H21～H23(予定)

(商店街活性化事業)

- ・対象者：商店街・小売市場、NPO法人、まちづくり団体等
- ・支援内容：補助率1/2、限度額3,000千円・3年間



三和本通商店街(尼崎市)

(行動5 地域ぐるみの子育て支援の充実)

子育て応援ネットの推進

地域の女性団体等がネットワークを組み、見守り、声かけ、子育て相談などの子育て家庭応援運動を展開し、その中で虐待、問題行動等のシグナルやSOSをキャッチし、関係機関につなぐ「子育て応援ネット」を推進している。

21年度は、子育て家庭応援推進員1,614名(6月末)の協力を得て、登下校時の見守りやSOSキャッチなどの取り組みを進めている。

- ・ネットワーク立ち上げの支援
県内全市町全校区(21806校区)で立ち上げ
- ・ネットワークの活動への支援
市町ごとの推進母体に対して活動経費の助成、「地域子育てネットワークだより」等による情報提供、全県大会や県民局でのネットワーク交流大会の開催等
- ・SOSキャッチ活動の推進
要保護児童対策地域協議会やこども家庭センター等との連携を強化し、対応マニュアルの活用等により、各地域でのSOSキャッチ活動を推進。



下校時の安全パトロール

まちの子育てひろば

子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合ったり互いに情報交換できる身近な拠点として、「まちの子育てひろば」を県内1,917か所(216月末)を開設している。

- ・参加者数 約268万人、約276万人
- ・まちの子育てひろばコーディネーター、サポーターの県民局等への配置(32名)
- ・専門機関等による相談機能や体験活動の充実
まちの保健室の看護師派遣
(594回、664回、214月末114回)
ひろばアドバイザー派遣
(600回、600回、216月末111回)
動く・こどもの館号による体験活動の支援
(473回、479回、216月末98回)



まちの子育てひろば

子どもの冒険ひろば

子どもが自由な発想で、のびのびと遊びながら、たくましく生きる力を育むため、県内各地の公園や空き地、学校の校庭などを活用して「子どもの冒険ひろば」を開設している。

- ・子どもの冒険ひろばの開設
428か所(広域19か所、地域419か所)(3月末現在) 参加者数 約96千人(実績)
- ・プレイリーダーの養成(年延べ178名)(実績)

若者ゆうゆう広場

若者が気軽に立ち寄り、くつろいだ雰囲気の中で人間関係をつくり、社会性を育むことができる居場所づくりを推進するため「若者ゆうゆう広場」を開設している。

- ・若者ゆうゆう広場の開設 43か所(3月末現在)参加者 約147千人(実績)

こどもの館による子育て支援

子どもの体験活動や親の交流・学習の場であり、親・祖父母、子育て支援者等の広域的活動拠点であるこどもの館において、子どもたちの創作活動の機会の提供、子育て講座・子育て相談、子育て支援者リーダー養成講座、保育士・幼稚園教諭等の専門研修などを実施している。

あわせて、市町の児童館等の研修・交流や「動く・こどもの館号」の派遣など市町の子育て支援にも取り組んでいる。

- ・子育て施設コラボネットの推進
(21年6月末:児童館186か所、子育て学習センター71か所、地域子育て支援センター48か所等計305か所による連携、情報共有、協働事業)

ひょうご放課後プラン事業の推進

放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保と次世代を担う児童の育成支援のため、市町に対して「放課後こども教室」と「放課後児童クラブ」の全小学校区での開設を支援するとともに、指導者研修を実施するなど、ハード・ソフトの両面から市町への支援を行う。

区分	機能	対象	日数 (開設時間)	指導者	開設場所	設置施設数		
						実績	実績	21年6月
放課後こども教室	交流:地域住民との交流等 体験:スポーツ・文化活動等 学習:予習・復習等 遊び:仲間づくり 生活:放課後の生活の場	すべての小学校 1~6年生	週1~6日 (放課後~ 17時頃)	安全管理員 学習アドバイザー	小学校施設を原則	214	281	361
放課後児童クラブ		共働き家庭等の 小学校1~6年生 (登録児童)	週5日以上 (放課後~ 18時頃)	指導員		691	716	747

民生委員・児童委員、主任児童委員活動の推進

地域における児童福祉活動の中心的な担い手として、児童の健全育成のために身近な相談等を行う民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を支援している。

- ・委嘱定数 民生委員・児童委員9,378人、主任児童委員741人(21年4月1日)
- ・活動内容 地域住民からの相談、地域や家庭問題の相談、関係機関連絡会議への参加

ファミリーサポートセンター

育児の援助を受けたい者（依頼会員）と援助を行いたい者（提供会員）とを、それぞれ会員として組織し、自宅での子どもの預かり等、会員同士の援助活動を支援する「ファミリーサポートセンター」を設置する市町に対し、運営経費の一部を補助するなどにより子育てと仕事の両立を支援している。

- ・対象：会員が概ね 100 名以上のファミリーサポートセンターを設置する市町
- ・助成：1 市町あたり補助率1/4、上限200万円以内、5年間(県補助)
- ・設置等市町数：26市町（²¹4月現在）
- ・会員数：依頼会員 14,455名、提供会員 4,712名、両方会員 2,365名(²¹5月末)
- ・活動件数：73,849件、70,760件、²¹5月末10,333件

まちの寺子屋プロジェクト

職員提案事業化テストの成果を踏まえ、子育て活動への参加意欲を持つ団塊世代や高齢者等の能力を活かした地域ぐるみの子育てを支援する。

まちの寺子屋師範塾の開催

大学コンソーシアムひょうご神戸(45 大学等)と協力し、地域の子育て支援、食生活、健康や発達障害など様々な分野の寺子屋師範塾を開催

- ・県内 18 大学で 22 講座を開催（8～2月） 受講者数 約 680 人
- ・各講座の修了者には「修了証」を交付

大学名	講座テーマ	開催日程	大学名	講座テーマ	開催日程
神戸大学	地域における子育て支援を学ぶ	10/24～10/25	兵庫教育大学	実践で学ぶ子育て支援	9/30～12/2
兵庫県立大学	自然を楽しみながら学ぶ方法	9/3～9/24	神戸女学院大学	子育てと子どものためのサイエンス	10/1～10/22
兵庫県立大学	みんなの食生活を考えよう	10/10～11/21	甲南大学	「子育て・家族支援者」養成講座	10/3～11/14
兵庫県立大学	ICT時代に生きる子どもたち	10/14～11/11	神戸山手大学	高齢社会におけるシニアの社会参加	10/16～12/18
兵庫県立大学	自分を生かした子どもとのかかわり方	10/31～11/21	神戸山手大学	六路盤で囲碁入門	11/25～1/13
神戸親和女子大学	子育てをどう支援するか	9/12～10/24	夙川学院短期大学	「子ども達の今」を新たな視点から考えよう	10/10～11/28
関西福祉大学	子どもの心の問題への関わり方	8/21～10/25	神戸松蔭女子学院大学	子育てを楽しく支援するために	10/17～12/5
園田学園女子大学	そのだ流子育て講座	9/11～10/9	神戸学院大学	子どもの理解と子育て支援	10/19～12/7
姫路獨協大学	発達障害の理解と支援	9/18～10/9	近大姫路大学	子どもの未来と子育て支援	11/14～12/5
芦屋大学	世代間交流と子育て支援	9/26～11/14	神戸常盤大学	子育てと健康	11/21
神戸女子大学	食と子育てを学ぶ	9/26～10/24	兵庫大学	東播磨のウェルネスのために	1月～2月

「まちの寺子屋」の開設推進

地域の大人たちの経験や知恵を活かして、昔遊び、食の体験等を通じ、生活習慣や社会のルールを伝える「まちの寺子屋」に看板を貸与し、開設を推進



「まちの寺子屋」第1号看板交付（姫路市）

（行動6 子育てと仕事の両立支援）

事業所内保育施設整備推進事業

働きながら子育てしやすい環境を整備するため、事業主による保育施設等の整備を支援している。

21年度は、県商工会連合会、県民間病院協会、県老人福祉事業協会等の会員向けに、個々の業態に応じたPRを重点的に実施している。

- ・対象：乳幼児定員3～9人の施設
- ・設置費補助：補助率1/2（限度額750万円）
- ・利用実績：まで23施設、²¹8施設、累計31施設（予定含む）（6月末）



（株）アッシュ・サー・クリアシオンの事業所内保育施設

ひょうご仕事と生活のバランス推進事業

平成 19 年度に、柔軟な勤務制度の導入や長時間労働是正等に向けた中小企業等への取り組みを支援する「多様な働き方のモデル開発」で得られた成果をふまえ、仕事と生活のバランス推進を図るための諸制度導入の啓発や、業務改善、意識改革など企業・労働者等の個別事情に応じた支援を行う相談員を派遣し、企業等における仕事と生活のバランスへの取り組みを支援する。

- ・「ひょうご仕事と生活のバランス推進事業」推進会議設置（第 1 回会議 5 月 19 日開催）
- ・「ひょうご仕事と生活のバランス推進事業」啓発・相談員派遣： 延べ 664 社・団体
- ・「ひょうご仕事と生活バランス推進フォーラム」開催、「仕事と生活のバランス」ひょうご共同宣言の採択（ 10 月 22 日）

(新)ひょうご仕事と生活センター事業

企業に人材確保や生産性の向上をもたらす、勤労者に働く意欲や働きがいをもたらす「仕事と生活のバランス」の取り組みを全県的に推進する拠点として、連合兵庫、兵庫県経営者協会と協働の下、「ひょうご仕事と生活センター」を、平成 21 年 6 月 3 日に兵庫県中央労働センター内に設置した。

事業内容

(1)啓発・情報発信

- ・ポータルサイトの開設
- ・企業向け啓発情報誌の発行
- ・調査研究の実施

(2)相談・実践支援

- ・ワンストップ相談
- ・相談員等の派遣
- ・研修企画・実施

(3)企業顕彰

- ・仕事と生活のバランスで先進的な企業を三者（県、連合兵庫、県経営者協会）で表彰

(4)企業助成

- ・出産・育児等による離職者の再雇用支援



「ひょうご仕事と生活センター」の開設

ひょうご女性チャレンジ支援事業

出産、育児などのために一度退職し、再び就職や地域活動などにチャレンジする女性などを対象に、情報提供、相談などにより入口から出口(就職、起業、在宅ワーク、地域活動)まで、一貫した支援をワンストップで実施しているほか、市町における「ひろば」の開設を支援している。

- ・女性チャレンジひろばでの相談件数： 3,857 件
- ・ひろば開設状況 県 1、市 16（順次、拡充）
 県：ひょうご女性チャレンジひろば（ 6 月）
 市町：下表のとおり



ひょうご女性チャレンジひろば

市名	開設年月	市名	開設年月	市名	開設年月	市名	開設年月
神戸市	H19.4	西宮市	H19.3	宝塚市	H18.11	三田市	H20.3
姫路市	H19.5	伊丹市	H19.4	三木市	H19.12	加西市	H20.1
尼崎市	H18.7	加古川市	H18.12	高砂市	H20.3	養父市	H19.5
明石市	H20.2	赤穂市	H19.3	川西市	H19.8	朝来市	H18.12

3 子どものすこやかな育ちへの支援

(行動7 子どもを守る基盤づくりの推進)

乳幼児等医療費助成

乳幼児の疾病又は負傷について、医療保険による給付が行われた場合に、その自己負担分を軽減している。

- ・対象者：小学校3年生まで
- ・支給実績： 43.1万人

小児救急医療体制の整備

21年度は、中播磨・丹波圏域に相談窓口を開設するなどより決め細やかな相談体制の確立を図る予定である。

- ・小児救急医療電話相談（#8000）の実施
相談実績 27,046件、相談時間：平日土 18:00～24:00、
日祝 9:00～24:00
- ・地域における小児救急医療電話相談窓口の設置
設置実績 3か所(神戸、北播磨、淡路)
5か所(上記に加えて阪神南、阪神北)
217か所(上記に加えて中播磨、丹波(予定))
- ・小児救急医療拠点病院の体制整備
県立こども病院小児救急医療センターの開設(10月)
阪神北広域こども急病センターの開設(4月)
ひょうご こどもリハビリセンター開設(4月)



こども病院
小児救急医療センター

阪神北広域
こども急病
センター



小児科・産科医確保及び女性医師の就業支援

地域の小児等の医療確保のため小児科・産科医師の確保等を行うとともに、女性医師等の就業を支援する取り組みを行っている。

- ・後期研修医師(専攻医)の県採用制度
小児科・産科等の専攻医を県職員として採用し、地域の医療機関へ派遣
- ・女性医師再就業支援センターの設置
出産等により離職した女性医師の再就業に向け、研修等を実施する女性医師再就業支援センターを県医師会に設置
- ・病院内保育所運営費補助
子どもを持つ女性医師等医療従事者向けの病院内保育所の運営費の一部を補助(50か所)

まちの保健室

孤立しがちな子育て中の親子等に、身近な場で気軽に健康相談や子育て相談に応じ、育児不安の軽減や子どものすこやかな成長を支援している。

- ・開設箇所数： 559か所
- ・育児相談件数 13,420件
- ・実施主体：兵庫県看護協会
- ・活動形態：復興公営住宅での開設
拠点開設(スーパーマーケット、郵便局)
出前隊(健康まつり、イベントや集会)
- ・看護系大学との連携(大学で成果研究等の実施)
- ・まちの子育てひろば事業との連携(ひろばに看護師を派遣)



健康福祉事務所による子育て支援

未熟児等ハイリスク児の家庭を訪問し、乳児の心身の健康な発育発達を促すための助言等を行うとともに、育児不安の強い親や未熟児・多胎児等養育上支援が必要な乳児をもつ親を対象に子育て等の講座を開催し育児不安の軽減、親の育児力の向上を図っている。

また、市町の母子保健サービス体制整備や職員の能力向上など市町への支援を行っている。

- ・未熟児訪問指導： 1,339 人
- ・親と子のこころの健康づくり推進事業： 集団指導（親講座）90 回
- ・市町への支援：母子保健サービス体制整備への助言、市町の担当職員への研修の実施等

児童虐待の防止

市町「要保護児童対策地域協議会」の運営支援、24 時間ホットラインの実施や地域ぐるみの連携などにより、児童虐待の防止を推進している。

また、昨年伊丹市で発生した虐待による死亡事案に関する「児童虐待事例検証委員会」の提言(H21年2月)を踏まえ、重大な虐待事案の再発防止対策に取り組んでいる。

・こども家庭センター・児童虐待相談件数

区分	17 年度	18 年度		19 年度		20 年度	
		件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比
全国	34,297	37,558	1.10	40,618	1.08	42,662	-
兵庫県	958	1,369	1.43	1,351	0.99	1,557	1.15

全国の 20 年度の件数は対応件数

・こども家庭センター・一時保護件数

区分	17 年度	18 年度		19 年度		20 年度	
		件数	前年度比	件数	前年度比	件数	前年度比
兵庫県	363	475	1.31	369	0.78	389	1.01

- ・児童虐待事例検証委員会報告（21 年 3 月）
- ・家庭復帰等評価委員会の設置(21 年)
- ・児童福祉専門調整員（警察 O B）の配置(21 年 4 月)
- ・児童家庭支援センターの増設（H20 年 2 箇所 H21 年 5 箇所）
- ・児童養護施設による支援：施設数 29 施設、入所者数 1,453 人（7 月 1 日現在）
- ・里親制度による支援：登録里親数 215 件、受託里親数 79 件、委託児童数 92 件(21 年 3 月末)
- ・オレンジリボンキャンペーン（全国的な児童虐待防止活動）の実施（21 年 11 月）

配偶者からの暴力（DV）対策の推進

平成 21 年 4 月に「兵庫県配偶者等からの暴力対策基本計画」を改定し、平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 カ年の計画に基づき、県立女性家庭センター（配偶者暴力相談支援センター）における相談支援をはじめとして、県庁内関係部局、警察本部、教育委員会、県健康福祉事務所、市町、民間支援団体、関係施設等が相互に連携を図りながら、相談から自立支援までの総合的な DV 対策を推進する。

区 分	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	・法律や医療など専門的アドバイスを必要とする複雑で困難ケースが増加している
相 談	7,646 (1,696)	8,717 (1,654)	10,957 (1,447)	12,810 (1,484)	
一時保護 (女性家庭センター)	177	207	188	176	

相談件数：市町・県・県警の合計件数(H20は暫定値)。()内は女性家庭センター分で内数

発達障害の早期発見・早期支援

身近な地域において、発達障害を就学前のできるだけ早期に発見し、状況に応じた発達支援が適切に行われるよう体制整備を推進している。

- ・発達障害児の早期発見体制の整備（1歳6か月児健診・3歳児健診の充実等）
- ・こども家庭センター等での発達相談（こども家庭センター 相談実績 1,380件）
- ・ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」による支援（相談、療育、相談支援等）
- ・保健・福祉と教育の連携（市町発達障害児支援連絡会議による情報共有等）
- ・療育体制の確保（保育所における発達障害児の受入の拡充等）

ひょうごユースケアネットによる支援

不登校やひきこもり問題をはじめとする青少年の心の問題への対応を図るため、保健・医療、福祉、教育等の21関係機関からなる「ひょうごユースケアネット」(事務局：県立神出学園)において、シンポジウムの開催や専門研修などを実施している。

21年度は20年度に行った青少年のインターネット等被害の実態把握と分析を踏まえ、その成果を広く発信するための方策を検討する。

- ・「インターネットや携帯による被害等の現状と課題」講演会の開催(21年6月22日)
- ・フリースクールとの連携事業の実施

(行動8 豊かな人間性を育む環境の充実)

環境体験事業

自然に対する畏敬の念をはじめ、命の大切さ、命のつながり等を実感させるとともに、美しさに感動する豊かな心をはぐくむため、五感を使って自然にふれあう体験型環境学習を実施している。

- ・対象者：全公立小学校の3年生(21年805校)
- ・活動内容：里山林、田や畑、川や海岸等における自然観察や栽培・飼育等の体験活動

自然学校の推進

豊かな自然の中でさまざまな活動を実施することで、心身ともに調和のとれた子どもの育成を図っている。

- ・対象者：全公立小学校の5年生(21年804校)
- ・活動内容：5泊6日の日程で、自然体験活動や地域とのかかわりのある活動

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の推進

思春期にある中学生に時間的・空間的なゆとりを確保し、地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、「生きる力」を育成している。

- ・対象者：全公立中学校・中等教育学校の2年生及び



トライやる・ウィーク

市立特別支援学校中学部の2年生（21369校）

- ・活動内容：地域での職場体験活動、地域でのボランティア活動 等

高校生地域貢献事業「トライやる・ワーク」の推進

高校生に地域社会の一員としての自覚と態度を育むため、全県立高等学校においてクラス、グループ単位で地域社会の力となる活動を実施している。

- ・対象者：全県立高等学校の1年生（21153校）
- ・活動内容：地域の伝統文化、民族芸能の継承活動、独居老人宅訪問、地域の交通安全啓発活動 等

（行動9 すこやかに育つためのまちづくりの推進）

新婚・子育て世帯の県営住宅への優先入居等

周辺に保育施設等がある利便性の高い県営住宅において、新婚世帯・子育て世帯の優先入居を実施するとともに、県住宅供給公社が管理する特定優良賃貸住宅において新婚世帯・子育て世帯等に同公社が家賃補助を実施している。

・県営住宅募集実績

年度	区 分	募集時期	募集戸数	応募件数	
19	新婚世帯・子育て世帯の期限付き入居募集(入居後10年)	春(4月)	20	計40	75
		秋(10月)	20		386
	新婚世帯・子育て世帯の優先募集	春(4月)	61	計121	169
		秋(10月)	60		286
20	新婚世帯・子育て世帯の期限付き入居募集(入居後10年)	春(4月)	20	計40	205
		秋(10月)	15		103
		冬(1月)	5		52
	新婚世帯・子育て世帯の優先募集	春(4月)	60	計121	43
		秋(10月)	31		449
		冬(1月)	30		383
21	新婚世帯・子育て世帯の期限付き入居募集(入居後10年)	(5~6)月	7	56	
	新婚世帯・子育て世帯の優先募集	(5~6)月	36	270	

- ・県住宅供給公社からの補助を利用した特定優良賃貸住宅契約実績（216月末）
新婚世帯678件、子育て世帯120件、シルバー同居交流6件

ユニバーサル社会づくり実践モデル地区の整備推進

住民、企業、NPO等と協働して道路や施設のバリアフリー化などのハード整備とともに、高齢者、障害者等の社会活動への参画や子育て支援などソフト事業に取り組む市町の区域を「ユニバーサル社会づくり実践モデル地区」に指定し、重点的な支援を実施している。

- ・ユニバーサル社会づくり実践モデル地区の指定（216月末累計）
：17カ所（6カ所、9カ所、2カ所）
- ・県の支援：市町のモデルプラン策定経費助成
ユニバーサルモデル施設等改修費補助
ユニバーサルモデル地区活動費助成事業（から）

4 社会システムの再構築

(行動 10 社会システムの再構築による子育て支援の強化)

政・労・使の三者合意(ひょうご子ども未来三者合意)に基づくアクションプログラムの総合的推進

若者、育児・介護を担う人、女性、高齢者などが、各々の生活段階において、生活と仕事を調和させ、能力を発揮できる社会の実現を図るためのモデル開発や、仕事と生活のバランスを推進するための啓発など、三者合意(18年3月)に基づくアクションプログラム(18年7月)を具体化している。



政・労・使三者合意

- ・「ひょうご仕事と生活のバランス推進事業」推進会議(5月設置)
- ・「ひょうご仕事と生活のバランス推進事業」啓発・相談員派遣: 延べ664社・団体
- ・「ひょうご仕事と生活バランス推進フォーラム」開催、「“仕事と生活のバランス”ひょうご共同宣言」の採択(10月22日)

子育て応援企業等との協定締結

子育てと仕事の両立支援や子育て家庭の応援に取り組む企業等と協定を締結し、その企業等の取組内容を県の広報誌やホームページ等で周知するとともに、公共事業入札参加資格の点数加算や商工組合中央金庫と協働した低利融資(貸出金利を最大0.3%優遇)を実施している。

- ・子育て応援企業との協定締結実績: 475社(21年7月28日現在)
- ・商工組合中央金庫融資件数: 10件(21年6月末)
- ・職域団体等との協定締結:(12団体)(21年7月28日現在)
(社)神戸青年会議所(子育てと仕事の両立支援等)
国際ワプランド神戸、明石、淡路、西播磨、姫路西、但馬
(虐待防止啓発、児童福祉施設への支援等)



子育て応援企業との協定締結式

- 県生活衛生同業組合連絡協議会(15組合による子育て応援の店等(クーポン料金割引等))
- 県技能士会連合会(「ひょうごの匠」による中学生へ技術体験指導等)
- (社)県測量設計業協会(仕事と生活の調和の取り組みの推進等)
- 県商工会連合会(青年部・女性部による地域での子育て支援等)
- 県いけばな協会(各地域での「子どもいけばな教室」の開催等)

ひょうご子育て応援の店

近畿各府県と連携して子育て世帯を社会全体で支援するため「ひょうご子育て応援の店」を平成19年12月から実施している。

21年度は、協賛店舗・業種の拡大を図るため、県と包括協定を締結したコンビニエンスストアチェーン店舗の加入を促進するとともに、近畿ブロック知事会議での合意に基づき、公募・選定した共通愛称を用いた相互利用の促進など、近畿各府県と連携した取組みを進める。

- ・店舗の支援内容: 料金割引、ポイント付加、子育て教室の開催、子どもの一時預かり等
- ・利用方法: 協賛店へのパスポート提示等
- ・参加店舗数: 2,610店(21年6月末)



子育て応援の店
(コープこうべ)

NPOとの協働

NPOと行政の子育て支援会議（平成18年8月設置）

NPOと行政が情報を共有し、協働して子育て支援を行う枠組みとなる「NPOと行政の子育て支援会議」を設置。会員団体相互の効果的な情報発信・情報共有の仕組みづくりを進め、研修・交流会を開催している。

21年度は、「緊急雇用就業機会創出事業」を活用し、「NPOと行政の子育て支援会議運営事業」を県内5地域でNPOに委託して実施する等、地域における子育て支援活動の一層の充実を図る。

- ・ 会員：145団体（NPO 103団体、行政：42団体（県、神戸市等））
- ・ 運営事業委託団体：NPO法人さんぴいす他4団体
- ・ 但馬地域交流会の開催（217月16日）



子育て支援メッセ

大学との協働の推進

県と大学コンソーシアムひょうご神戸（県内45大学等）等と締結した子育て支援に係る協定に基づき、団塊世代などの子育て活動の参加等に向け、大学等の持つ資源（教員、学生、施設など）を活かした取り組みを実施している。

- ・ 大学での「まちの寺子屋師範塾」開催（218月～）
- ・ 子育て支援シンポジウムの開催（6月、7月、7月、217月）
- ・ キッズオープンキャンパスの開催（2110月～12月）



大学コンソーシアムひょうご神戸
子育て支援に関するシンポジウム

市町との協働

県・市町少子対策協働会議（平成18年6月設置）

市町・県民局・県本庁関係課が一堂に会し、取り組み状況の事例報告や意見交換などを通じ、相互の連携等を図る会議を設置し、市町の先導的な取り組みの支援など、県と市町が協働して少子対策を推進している。

- ・ 定例会議の開催：216月開催
- ・ 県民局単位での管内市町との地域協働会議の開催

「子育て応援元気アップ賞」の表彰

地域における子育てと仕事の両立支援や子育て家庭への支援など、先進的な取り組みを行っている企業、団体、個人等を表彰し、その活動を周知することにより、子育て活動を支援している。

- ・ 35団体等を表彰
（兵庫県連合婦人会、子育てサークル「やんちゃんこ」、（株）日本海フーズ等）
- ・ 29団体等を表彰
（（財）阪神北広域救急医療財団、チビッコサークル、（株）エス・アイ等）

ひょうご子ども未来プラン 数値目標の状況

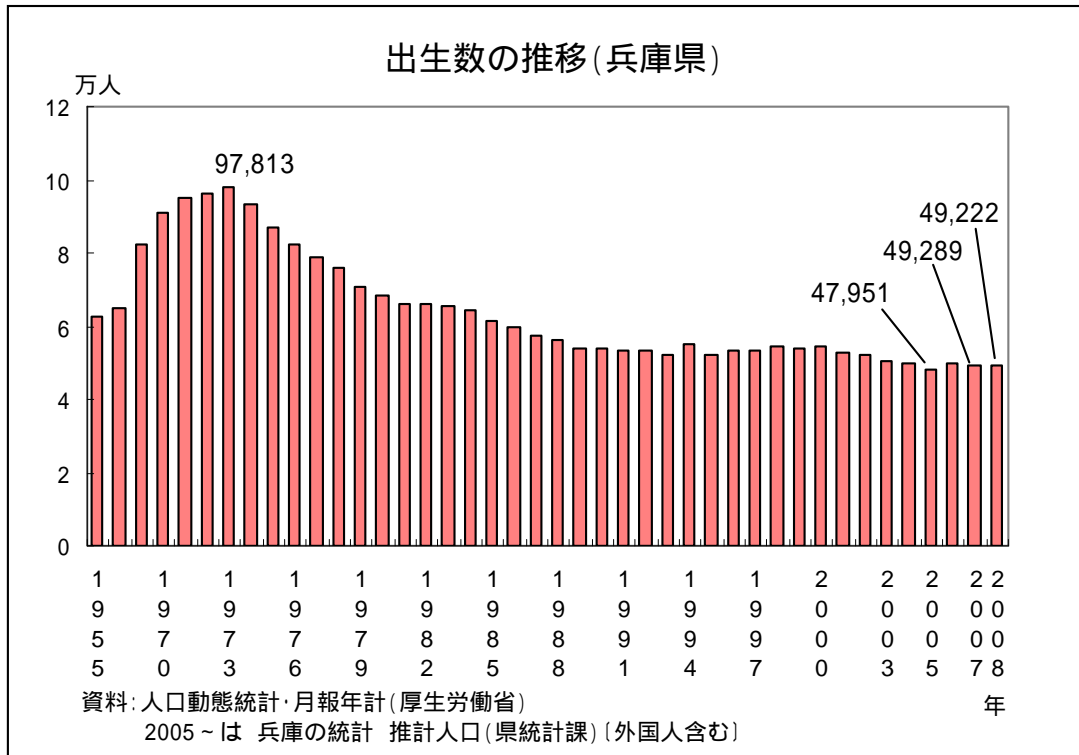
		20年度				
		目標		実績		達成率
1	未来の親づくりへの支援					
	ピアカウンセリングの実施回数	39	回	29	回	74.4
	こうのとりの会会員数	3,040	人	3,243	人	106.7
	ひょうご出会いサポート事業イベント回数	48	回	166	回	345.8
	不妊治療への支援(体外受精・顕微授精に対する助成)	1,600	件	1,780	件	111.3
	兵庫しごとカレッジシステムによるキャリアアップの推進	10,000	人	15,201	人	152.0
	「ものづくり大学校」ものづくり人材の育成	4,000	人	2,443	人	61.1
	若者しごと倶楽部利用者の就職者数	1,100	人	1,247	人	113.4
2	子どもを生み育てることへの支援					
	私立幼稚園幼児教育相談所開設園数	228	園	200	園	87.7
	保育所定員増加人数	2,800	人	2,804	人	100.1
	延長保育実施施設数	420	か所	405	か所	96.4
	休日・夜間保育実施施設数	25	か所	15	か所	60.0
	病児病後児保育事業実施か所数(病後児保育)	26	か所	33	か所	126.9
	子育てショートステイ事業実施か所数	38	か所	36	か所	94.7
	私立幼稚園預かり保育実施園数	205	園	203	園	99.0
	私立幼稚園長時間等預かり保育実施園数	55	園	53	園	96.4
	放課後児童クラブ設置数	590	か所	716	か所	121.4
	一時・特定保育実施施設数	240	か所	203	か所	84.6
	小学校連携推進事業	100	か所	100	か所	100.0
	わくわく幼稚園	170	園	146	園	85.9
	子育て応援ネット(子育て家庭応援推進員)	1,737	人	1,613	人	92.9
	まちの子育てひろば実施か所数	1,643	か所	1,886	か所	114.8
	子育て応援企業との協定締結の拡大	110	企業	443	企業	402.7
	ファミリーサポートセンター設置市町数	23	市町	26	市町	113.0
	私立幼稚園親子学級開設園数	188	園	183	園	97.3
	事業所内小規模保育施設の設置助成	8	か所	23	か所	287.5
	男女共同参画推進員(企業・労組)の拡充	720	人	866	人	120.3
	男女共同参画社会づくり協定締結事業所の拡大	150	事業所	352	事業所	234.7
	再就業支援セミナー参加者数	450	人	506	人	112.4
	農村女性の起業件数	243	件	267	件	109.9
3	子どものすこやかな育ちへの支援					
	1歳6か月児、3歳児健診受診率	98	%	95.5	%	97.4
	まちの保健室	520	か所	559	か所	107.5
	要保護児童対策地域協議会設置市町数	41	市町	41	市町	100.0
	DV対策(一時入居住宅(ステップ・ハウス)の確保)	10	戸	5	戸	50.0
	DV対策(一時保護委託先)	20	施設	20	施設	100.0
	まちづくり防犯グループの結成支援	2,600	G	2,352	G	90.5
	ひょうごハート・ブリッジ・メンバー登録者数	事業終了				
	農林水産体験ファーム参加人数	300	人	343	人	114.3
	体験型環境学習・教育参加者数	30,000	人	43,305	人	144.4
	子どもの冒険ひろば実施か所数	360	か所	428	か所	118.9
	若者ゆうゆう広場実施か所数	50	か所	43	か所	86.0
	県立都市公園開園面積	850	ha	937.7	ha	110.3
	利用者の多い駅舎のバリアフリー化99%作戦	160	駅	153	駅	95.6
	子育て世帯の県営住宅優先入居枠の拡大	60	戸	161	戸	268.3

目標達成状況 : 42項目中25項目で目標達成
9項目でほぼ目標達成(90%以上)

主要データの動向

1 出生数の状況（兵庫県）

1973 年をピークに減少を続け、最近はピーク時の約半分。平成 17 年は 47,951 人で最低となったが、平成 20 年の出生数は前年とほぼ横ばいの 49,222 人となり、年間目標の 5 万人に近い水準で推移している。



出生順位別の出生数は、過去 4 年間で、第 1 子、第 2 子はほぼ横ばいであるが、第 3 子以上は増加傾向にある。

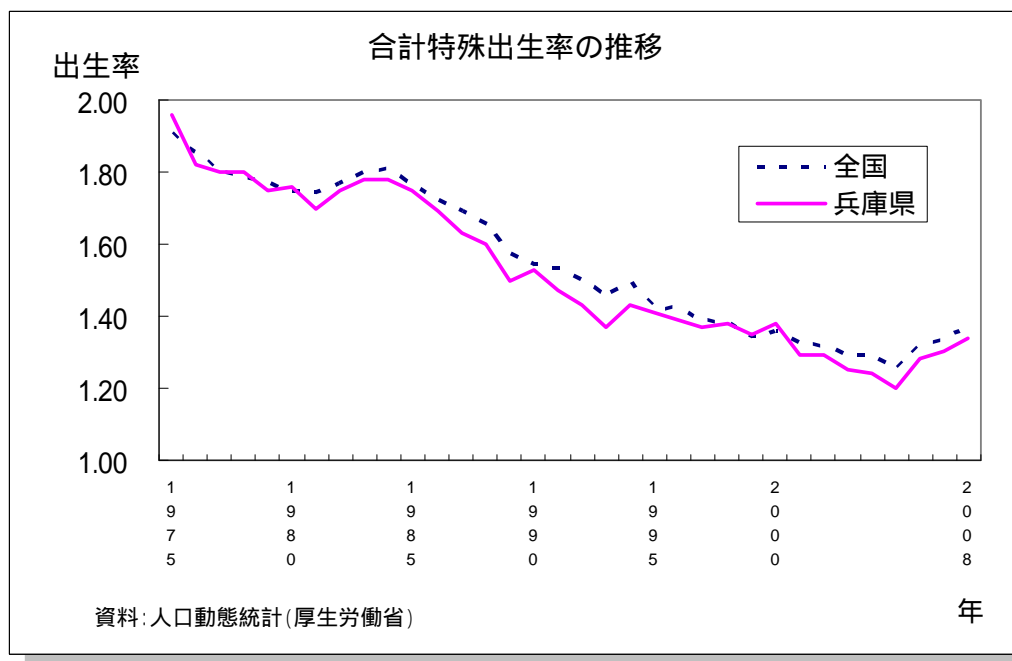
出生順位別出生数（兵庫県）（外国人を含まない）

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	18 / 17年	19 / 18年	20 / 19年
第1子	22,407	23,086	23,019	22,876	679	67	143
第2子	18,065	18,670	18,529	18,357	605	141	172
第3子以上	6,801	7,015	7,136	7,600	214	121	464

資料：厚生労働省「人口動態統計」

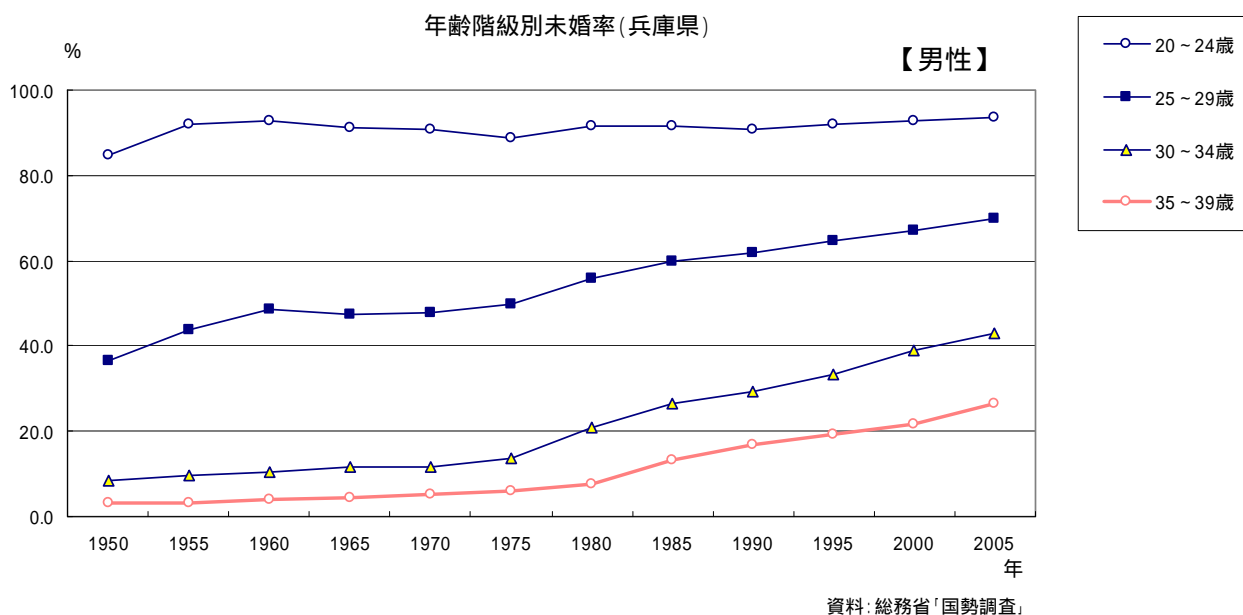
2 合計特殊出生率（全国・兵庫県）

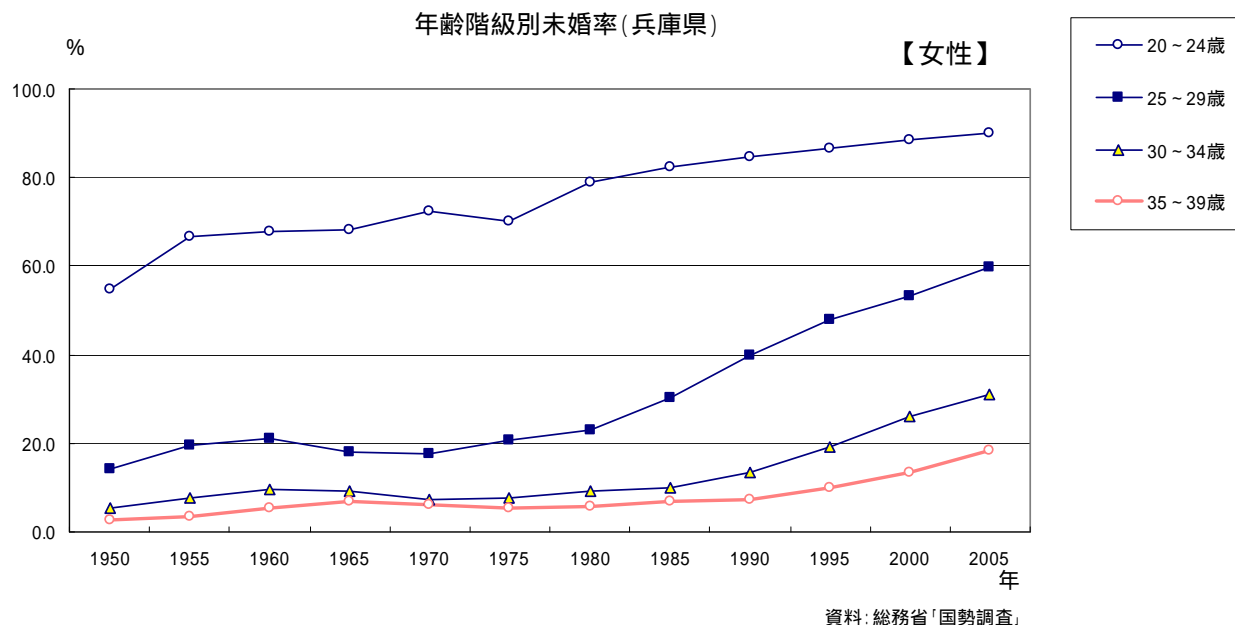
1975年に2を割り込んで以降、低下傾向にあったが、2008年は3年連続で前年を上回り1.34（全国35位）となっている。（全国平均1.37）



3 年齢階級別未婚率の推移

各年齢層で未婚率が上昇し、全体として晩婚化が進んでいる。特に、25～29歳の女性の未婚率が急激に上昇している。





4 平均初婚年齢の推移

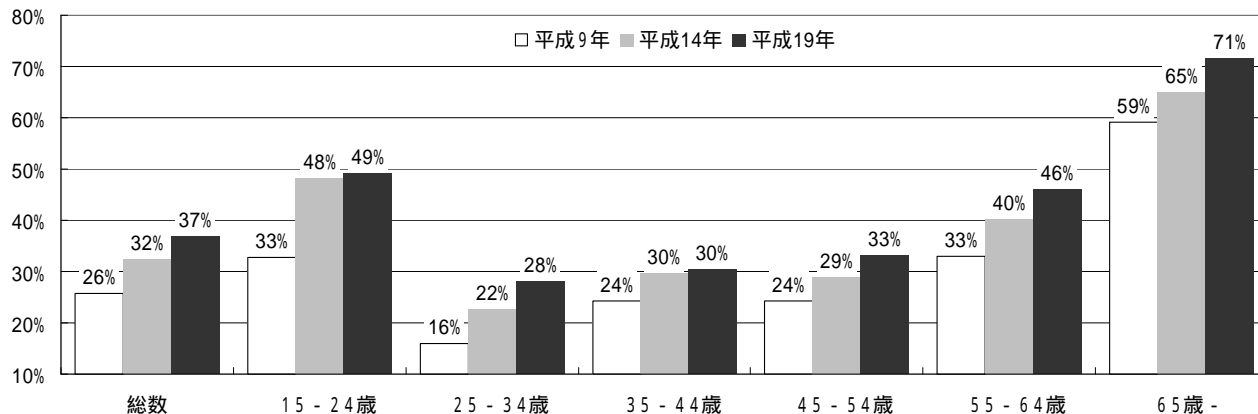
平均初婚年齢は、30年前と比較して、男性2.3歳、女性3.4歳高くなっている。

区分	兵庫県		全国(参考)	
	男	女	男	女
1975	27.1	24.7	27.0	24.7
1976	27.3	24.8	27.2	24.9
1977	27.4	24.9	27.4	25.0
1978	27.6	25.0	27.6	25.1
1979	27.7	25.1	27.7	25.2
1980	27.9	25.2	27.8	25.2
1981	28.0	25.2	27.9	25.3
1982	28.0	25.3	28.0	25.3
1983	28.1	25.3	28.0	25.4
1984	28.1	25.4	28.1	25.4
1985	28.2	25.4	28.2	25.5
1986	28.2	25.5	28.3	25.6
1987	28.2	25.5	28.4	25.7
1988	28.2	25.6	28.4	25.8
1989	28.2	25.6	28.5	25.8
1990	28.2	25.7	28.4	25.9
1991	28.3	25.8	28.4	25.9
1992	28.3	25.9	28.4	26.0
1993	28.2	25.9	28.4	26.1
1994	28.3	26.0	28.5	26.2
1995	28.3	26.1	28.5	26.3
1996	28.3	26.3	28.5	26.4
1997	28.3	26.4	28.5	26.6
1998	28.4	26.6	28.6	26.7
1999	28.5	26.8	28.7	26.8
2000	28.6	27.0	28.8	27.0
2001	28.9	27.2	29.0	27.2
2002	29.1	27.4	29.1	27.4
2003	29.3	27.7	29.4	27.6
2004	29.5	27.8	29.6	27.8
2005	29.7	28.0	29.8	28.0
2006	29.9	28.2	30.0	28.2
2007	29.9	28.3	30.1	28.3
2008	29.9	28.4	30.2	28.5

5 正規・非正規雇用の割合の推移

年齢別非正規雇用の割合

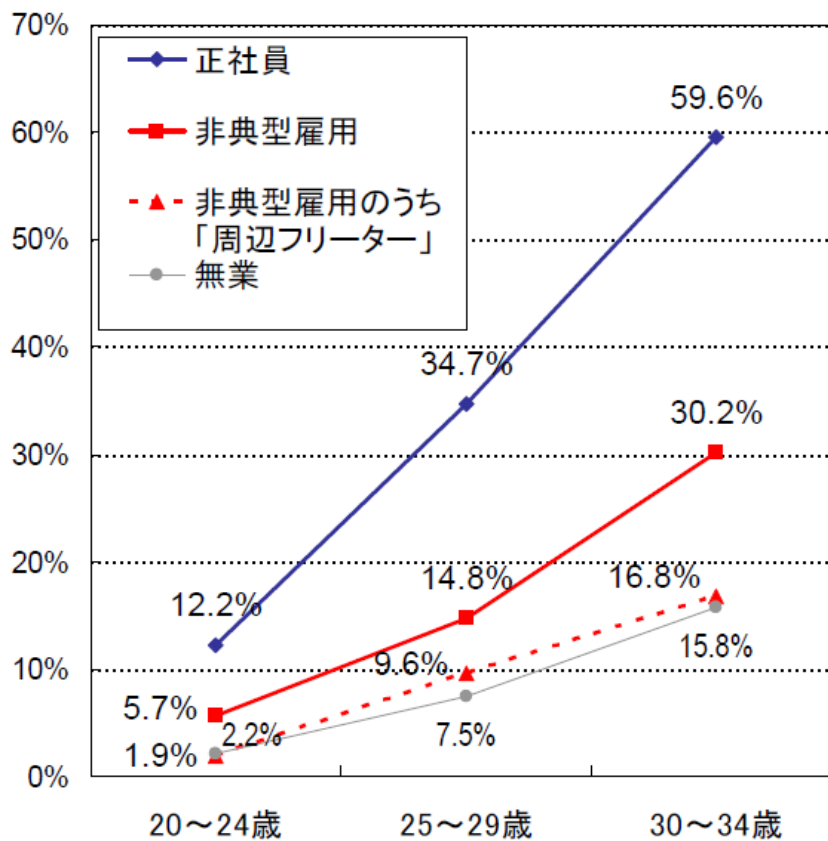
全年齢層で非正規雇用の割合が増加している。



資料：就業構造基本調査

就労形態別配偶者のいる割合(男性)

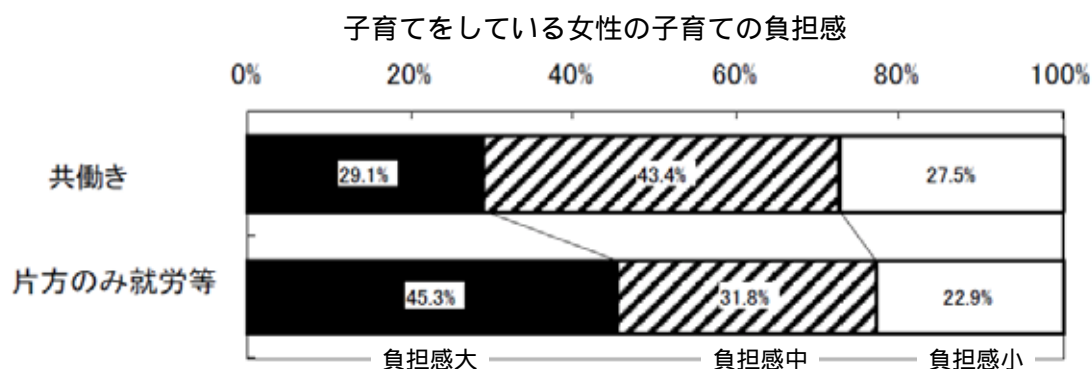
正社員の場合に比べて非典型雇用の場合は有配偶率は低く、さらに「周辺フリーター」では有配偶率は無業者と同程度まで低下する。



資料：労働政策研究・研修機構「若者就業支援の現状と課題」

6 専業・共働別の育児負担感

専業主婦世帯の方が共働き世帯より子育ての負担感が大きい。

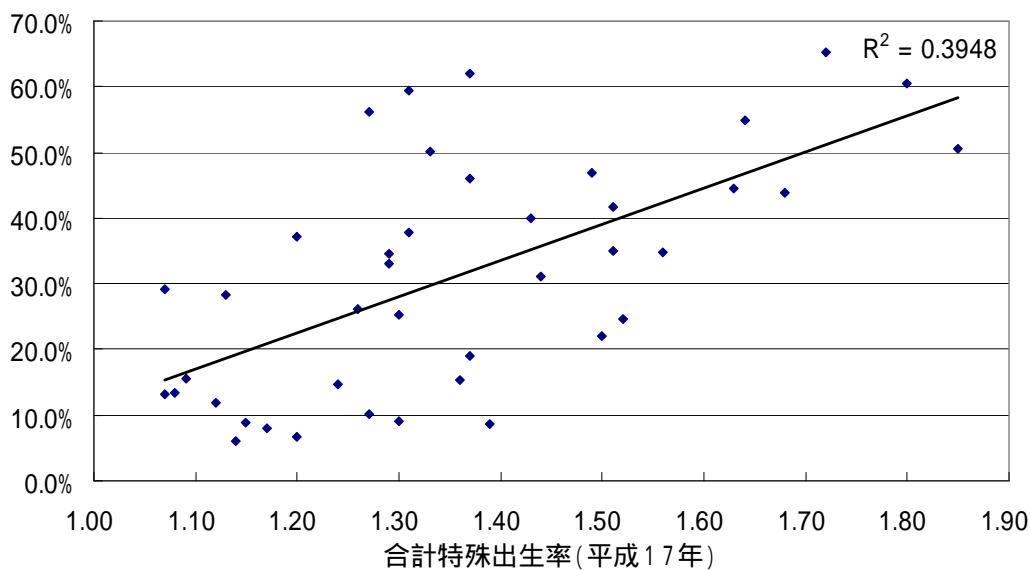


資料出所：(財)こども未来財団「子育てに関する意識調査」(平成12年)

7 三世帯同居率

三世帯同居率と合計特殊出生率はゆるやかな正の相関がみられる。

県内市町の15歳未満の子どもがいる世帯の三世帯同居率と合計特殊出生率
三世帯同居率(%)

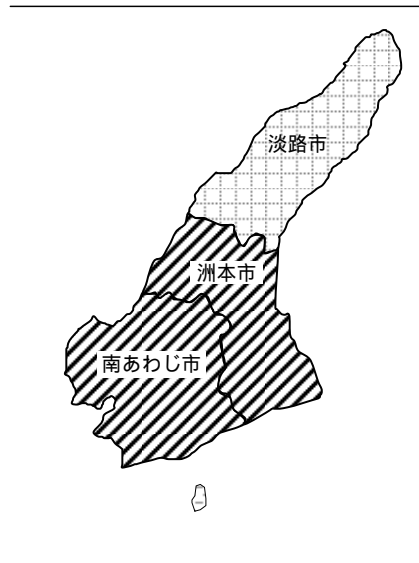
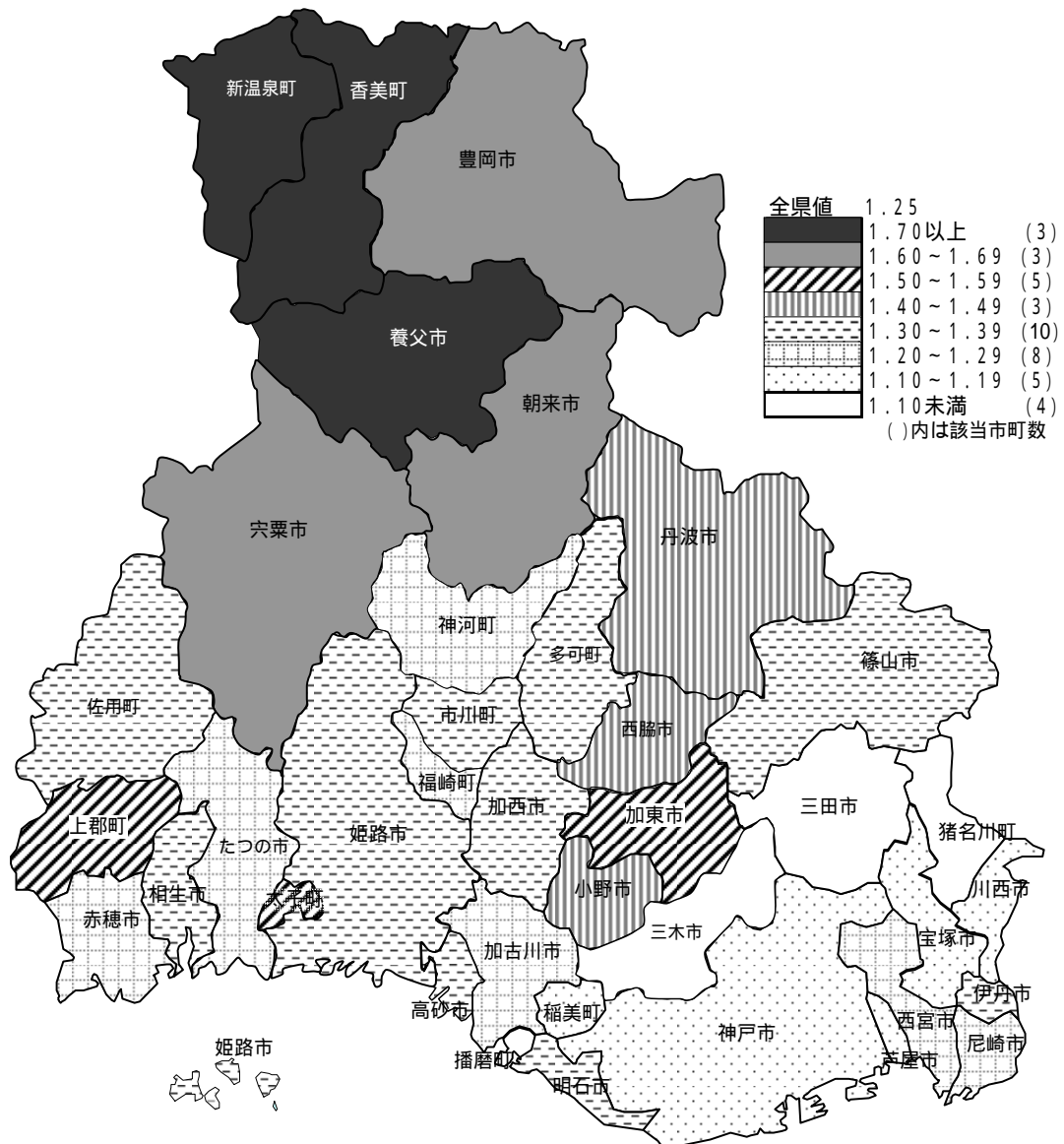


区分	H17合計 特殊出生率	三世帯 同居率
1 香美町	1.72	65.3%
2 多可町	1.37	62.1%
3 新温泉町	1.80	60.4%
4 佐用町	1.31	59.5%
5 神河町	1.27	56.1%
6 穴粟市	1.64	54.9%
7 養父市	1.85	50.5%
8 市川町	1.33	50.1%
9 丹波市	1.49	46.9%
10 加西市	1.37	46.1%
11 豊岡市	1.63	44.5%
12 朝来市	1.68	43.8%
13 南あわじ市	1.51	41.8%
14 西脇市	1.43	39.9%

区分	H17合計 特殊出生率	三世帯 同居率
15 篠山市	1.31	37.8%
16 福崎町	1.20	37.2%
17 上郡町	1.51	34.9%
18 加東市	1.56	34.7%
19 たつの市	1.29	34.5%
20 淡路市	1.29	33.0%
21 小野市	1.44	31.0%
22 三木市	1.07	29.1%
23 稲美町	1.13	28.3%
24 赤穂市	1.26	26.2%
25 相生市	1.30	25.2%
26 洲本市	1.52	24.5%
27 太子町	1.50	22.1%
28 姫路市	1.37	19.1%

区分	H17合計 特殊出生率	三世帯 同居率
29 猪名川町	1.09	15.6%
30 高砂市	1.36	15.2%
31 加古川市	1.24	14.8%
32 三田市	1.08	13.5%
33 播磨町	1.07	13.2%
34 川西市	1.12	11.8%
35 尼崎市	1.27	10.2%
36 明石市	1.30	9.1%
37 神戸市	1.15	8.8%
38 伊丹市	1.39	8.7%
39 宝塚市	1.17	8.1%
40 西宮市	1.20	6.7%
41 芦屋市	1.14	6.0%
全 県	1.25	16.1%

(参考) 県内市町別合計特殊出生率の状況(平成17年)



区分	平成12年	平成17年	増減	平成20年出生数
1 養父市	1.86	1.85	0.01	187
2 新温泉町	1.90	1.80	0.10	108
3 香美町	1.78	1.72	0.06	150
4 朝来市	1.84	1.68	0.16	206
5 宍粟市	1.82	1.64	0.18	344
6 豊岡市	1.85	1.63	0.22	767
7 加東市	1.69	1.56	0.13	398
8 洲本市	1.59	1.52	0.07	367
9 上郡町	1.40	1.51	0.11	112
10 南あわじ市	1.51	1.51	0.00	384
11 太子町	1.57	1.50	0.07	426
12 丹波市	1.89	1.49	0.40	537
13 小野市	1.63	1.44	0.19	446
14 西脇市	1.64	1.43	0.21	371
15 伊丹市	1.50	1.39	0.11	2,065
16 加西市	1.47	1.37	0.10	328
17 多可町	1.67	1.37	0.30	165
18 姫路市	1.55	1.37	0.18	5,091
19 高砂市	1.41	1.36	0.05	818
20 市川町	1.50	1.33	0.17	95
21 佐用町	1.76	1.31	0.45	133

区分	平成12年	平成17年	増減	平成20年出生数
22 篠山市	1.59	1.31	0.28	313
23 相生市	1.31	1.30	0.01	226
24 明石市	1.47	1.30	0.17	2,741
25 たつの市	1.39	1.29	0.10	658
26 淡路市	1.47	1.29	0.18	331
27 神河町	1.76	1.27	0.49	76
28 尼崎市	1.37	1.27	0.10	4,431
29 赤穂市	1.61	1.26	0.35	414
30 加古川市	1.42	1.24	0.18	2,353
31 西宮市	1.31	1.20	0.11	4,871
32 福崎町	1.45	1.20	0.25	177
33 宝塚市	1.34	1.17	0.17	2,031
34 神戸市	1.23	1.15	0.08	12,878
35 芦屋市	1.24	1.14	0.10	858
36 稲美町	1.24	1.13	0.11	219
37 川西市	1.20	1.12	0.08	1,289
38 猪名川町	1.19	1.09	0.10	227
39 三田市	1.38	1.08	0.30	711
40 三木市	1.21	1.07	0.14	621
41 播磨町	1.28	1.07	0.21	299
県平均	1.38	1.25	0.13	49,222

上記は平成17年の合計特殊出生率の降順
資料:厚生労働省「人口動態統計」

現プラン策定後に顕在化してきた新たな課題

- 県内各地でのリレートーク(21年6月～)等が出てきた主な意見など -
- (1) 子育ての楽しさや経験が人生を豊かにするということの社会全体での認識の共有
- (2) 子どもを生子、この世に生命を繋ぐことの大切さという倫理観の尊重
- (3) 子どもの成長に合わせた乳幼児とのふれ合いの機会の充実
- (4) 地域や企業も一緒になった男女の出会いの場づくり
- (5) 産科・小児科医療の確保(近くにない、混雑している等への対応)
- (6) 若年の未婚男性が持つ結婚後の家族扶養の不安の解消(安定雇用等)
- (7) 若者の流出防止対策のための雇用の場の確保
- (8) 子育てを行政等に任せるのではなく、親も成長しながら責任を持って行うものであり、周りはそれを支援するものであるということの再認識
- (9) 子育てを父親と母親が協力して行うことの意義の理解
- (10) 2人目、3人目の出産・育児に対する支援の充実
- (11) 親の就業状況を問わない保育所への受入れ
- (12) 認定こども園における幼保の壁にかかる事務改善
- (13) 土日、夕方などの時間外の保育サービスの充実
- (14) 子どもが病気の時に保育先が確保できない場合に対する支援の充実
- (15) 地域の高齢者が地域の子どもの面倒を見る「地域の孫育て」の推進
- (16) 地域の子育てサークル等が活動しやすい環境整備(会場の確保や育児グッズの貸し出し等)

- (17) 閉じこもりの親に対する支援（誘い出し、関係者の情報共有）
- (18) 母親等が子育てしながらも働きやすい環境整備
- (19) 伝統文化について、意義も含めた伝承による子どもの健全育成の推進
- (20) 子どもの教育に対する学校、家庭、地域で協力した取り組み
- (21) 子育て支援機関のさらなるネットワーク化推進と役割分担の明確化
- (22) 子ども未来プラン等、全体の取り組みの一層の周知

新ひょうご子ども未来プラン リレートーク開催・予定一覧
(21.7.21)

回数	日時	行事名	人数
1	6/11(木)	第1回リレートーク in 朝来 (朝来市役所朝来庁舎)	20
2	6/11(木)	たつの市子育てネットワーク推進協議会研修会	50
3	6/12(金)	県婦人共励会 総会	30
4	6/20(土)	英語で遊ぼう (県立こどもの館)	30
5	6/22(月)	地域女性団体ネットワーク会議	17
6	6/22(月)	こうのとりの大得意見交換会	50
7	6/23(火)	県婦人会総会	100
8	6/23(火)	県測量設計業協会 役員研修会	20
9	6/23(火)	県知的障害者施設協会 役員会	20
10	6/24(水)	神戸市私立保育園連盟施設長会	125
11	6/25(木)	県民生委員児童委員連合会常任理事会	15
12	6/26(金)	県生活衛生同業組合連絡協議会 総会	40
13	6/27(土)	演劇ボランティア養成講座 (県立こどもの館)	25
14	7/4(土)	父親のための子育て応援講座 (県立こどもの館)	30
15	7/5(日)	にのみや遊び場つくる会 (西宮市プレーパーク)	10
16	7/6(月)	中播磨男女共同参画推進員 連絡会議	15
17	7/7(火)	夙川学院短期大学 (学生対象)	20
18	7/9(木)	県母子支援生活支援施設協議会 定例施設長会	6
19	7/9(木)	但馬地域児童虐待防止推進協議会 幹事会	25
20	7/10(金)	あすの兵庫を創る生活運動研究集会	40
21	7/10(金)	県児童養護連絡協議会 定例協議会(施設長会)	15
22	7/10(金)	神戸青年会議所 例会	40
23	7/14(火)	いぬいふくし村 (篠山市カキみーつけた)	18
24	7/14(火)	日置校区まちづくり協議会 (篠山市「中立舎」)	15
25	7/14(火)	阪神北男女共同参画推進員 連絡会議	15
26	7/15(水)	病院協会事業説明会	60
27	7/18(土)	パニラシティ (豊岡市)	30
28	7/20(月)	なかひょうご あそびの伝承プログラム普及事業 (県立こどもの館)	60

29	7/22(水)	幼児教育研修会 (県立こどもの館)	250
30	7/24(金)	こーぷこーべ理事會	15
31	7/24(金)	阪神南男女共同参画推進員 定例会議	15
32	7/25(土)	ココロ小野クラブ事業	25
33	7/25(土)	にしひょうご あそびの伝承プログラム普及事業 (県立こどもの館)	60
34	7/27(月)	兵庫県愛育連合会 理事会	25
35	7/30(木)	丹波まちづくりプロジェクト井戸端会議	25
36	7/30(木)	「和ネット丹波」 (兵庫県男女共同参画推進員)	20
37	7/30(木)	私立幼稚園協会 常任理事会	10
38	7/31(金)	姫野台生涯教育センター 両親教育インストラクター研修	80
39	7/31(金)	こころ豊かな美しい東播磨推進会議総会	60
40	8/1(土)	養父市男女共同参画センター講演会	50
41	8/1(土)	こどもの館劇団事業	20
42	8/10(月)	川西市 主任児童委員部会	15
43	8/18(火)	次世代育成育児宝塚市市民懇話会	20
44	8/29(土)	ものづくり指導者養成講座 (県立こどもの館)	20
45	8/31(月)	まちなかこども体験活動プログラム事業	60
46	9/3(木)	三木市 子育てキャラバン	50
48	9/9(水)	読み聞かせ指導者養成講座 (県立こどもの館)	50
49	9/10(木)	女性産業人懇話会 (VAL21)	20
50	9/17(木)	三木市 子育てキャラバン	50
51	9月中旬	但馬地区里親 里親交流会	10
52	9/25(金)	兵庫県手をつなぐ育成会 理事会	20
53	10/9(金)	芦屋市民生児童委員 (加納会長)	30
54	10/17(土)	県保育協会 兵庫県保育協会	300
55	10月中	西脇市 子育て支援ボランティア交流会	20
56	12月頃	県肢体不自由児協会 理事会	20
57	12/3(木)	新ひょうご子ども未来プラン 全県リレートーク	300

新ひょうご子ども未来プランの策定スケジュール

8月3日(月)	第1回新ひょうご子ども未来プラン策定協議会 プラン骨子案の検討に向けた意見交換
9月中旬	プラン骨子案の作成
10月～11月	骨子案に沿ったプラン原案の作成
12月中旬	第2回新ひょうご子ども未来プラン策定協議会 プラン原案についての意見交換
1月	プラン案の作成
2月中旬～	パブリックコメントの実施
3月上旬	第3回新ひょうご子ども未来プラン策定協議会 プラン案の報告
3月中旬	プラン確定、公表